

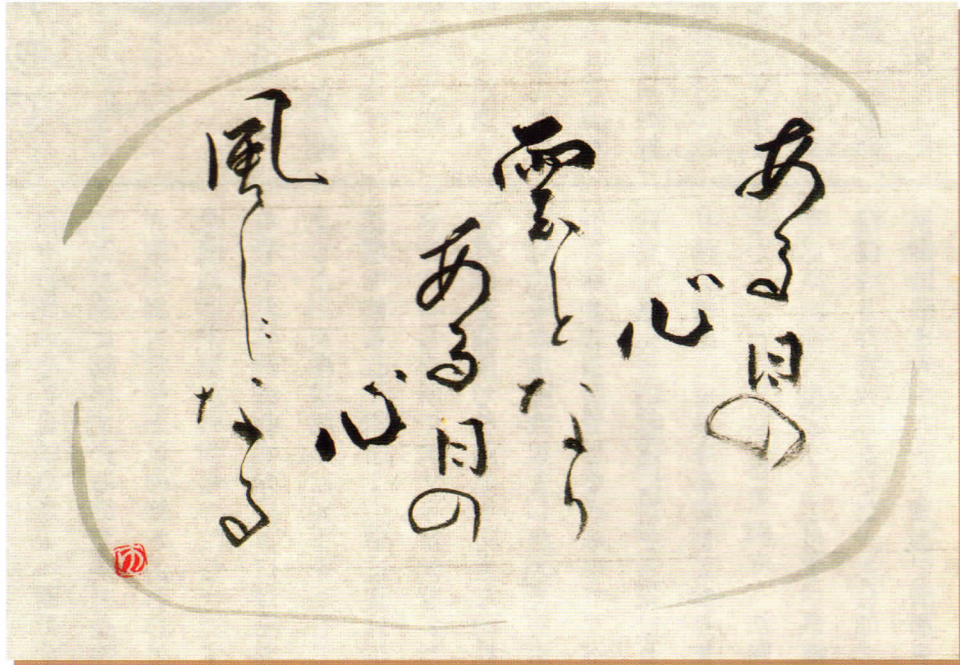
発行 真言宗豊山派 霊松山歡喜院
金剛寺

〒371-0241 前橋市苗ヶ島町1147
TEL 027 (283) 6918 FAX 027 (283) 6815
<http://www.raijin.com/kongouji/>

道

住職二十年を迎えて

金剛寺住職 志田洋遠



平成元年一月二十三日、当山金剛寺二十五世住職に任命され、二十年を迎えました。

小生に取って、正に激変の日々でした。顧みれば、勤めを辞めて僧侶として住職として生きる覚悟で迎えた「普山式」は、生涯忘れる事のない一日でした。それからの生き方は、宗教法人金剛寺の責任者として公益性を常に考察し、お寺が単なる風景になる事が無いように心がけて、歩みを進めて参りました。

平成五年に役員の協力を得て、当山檀信徒戦没者五十回忌法要を実施し、英霊の御霊の安らかなる事を念じ、参加者一同平和への思いを強く

致しました。

檀信徒の皆様と縁有る方々の熱き思いで改修された本堂で、平和の集い、邦楽の夕べ、落語と太鼓の夕べ、法話と津軽三味線の夕べ等を実施し、その模様は、寺報「道」の各号に掲載させて戴いているところです。又住職として、保護司、行政相談委員、教誨師、全国青少年教化協議会の役員、自坊では、「青少年心の相談室」金剛寺ホームページの中に「メール相談室」を設け、多くの青少年や御家族からの相談を受けております。

これから三十年に向けて、檀信徒の皆様のご理解と御指導を賜わりながら、「布教教化」の道を着実に歩いて行きたいと思っております。

合掌





岩崎 和衛

平成二十年十一月十八日から、二泊三日で金剛寺鐘樓堂の屋根改修工事完成と住職就任二十周年を記念致しまして、金剛寺檀家の皆さんと奈良県桜井市にある総本山長谷寺御本尊様を参拝してきました。晩秋の好天に恵まれ、十一面観世音菩薩（木造）は光り輝いて私たちを迎えてくれました。長谷寺の事務長より十一面観世音菩薩について説明、説教を戴きまして、その歴史の古さと人々の安泰、安全な生活を導いている話に感動する我が総本山長谷寺でした。

菩薩像の十一面観世音菩薩は楠の木で身丈は十メートル余で十一面を有する顔が東西南北と北東、東南、

北西、西南の方向と上、下の十面を見つめています。もう一カ所の面は自分自身の心を見つめて十一面の全ての慈悲に報いているのです。長谷寺は、真言宗豊山派の総本山として全国に三千有余の関係寺院を代表する寺であり寺の敷地の広さには驚きました。又参道脇には四季を通して花壇で飾られています。特に春はボタンで有名な所です。今は秋なので紅葉の最盛期でなんとも言えない様な紅色彩に堪能致しました。又心も引き締まる参詣でした。そして、本殿で住職よりの私達に対する先祖と私達の健康と恵みを祈禱して参りました。翌日は、明日香岡寺、法隆寺、薬師寺、東大寺と二月堂、京都醍醐寺と参拝致しました。そして、夕食後清水寺を参詣しまして清水寺より澄みきった秋空の中で京都の夜景を心行くまで堪能して来ました。翌日は南禅寺、東福寺、大原三千院を参拝して参りました。どこの寺院でもバスから降りて本堂までの参道を歩く距離の長いことと、石段があ

るのが老年者に取って負担が多いのですが殆どの寺院で階段などには手摺りなどの配慮がなされていて年寄りでも本堂参拝に優遇されています。一年を締め括る晩秋期なので、どこの寺院でも沢山の人が出で混雑していました。

私も本堂前では無心の心で真剣に手を合わせて幸福を願って祈りを捧げて来ました。

平成二十年十一月二十四日 記



石橋 久美子

今回、金剛寺で長谷寺参拝に行くという話しをいただき、一度も奈良、京都に行ったことがないので、ぜひ参加したいと思いました。時季的に紅葉がきれいだし、大和路など

とても期待で一杯でした。

先ず、奈良に着きどこを見ても景色が素晴らしく、予想以上に紅葉がきれいでした。次に、日本一の杉山を見て、杉の貫禄さに感動しました。民家や町並みなど、歴史を感じ保存されていると思いました。

長谷寺参拝では、三九九段の石段を登り、両側には素晴らしいボタンや木木があり、一步一步踏み締めながら登っていきました。とても、厳粛な長谷大観音 特別拝観をすませ気持ち澄み渡るような気持ちになりました。

その他、いろいろなお寺に行き、景色を見て、京都、奈良を満喫できました。初めて歴史にふれ、その時代にタイムスリップしたような感じになりました。多くの経験が出来てとても充実した三日間を楽しみました。





塚越 友樹

介護保険の利用をするには、市に申請し、要介護度が要支援度が出てから利用することができます。申請は居宅介護支援事業者、介護保険施設で代行申請してもらうことも可能です。申請は、まだが利用したいという方は施設に話し後日、申請するかたちもできます。

介護施設は色々あり、高齢者が遊び感覚で利用するデイサービスがあります。人との交流を目的として利用する方もいます。

一時的に(折骨など)身体的に、自宅で過ごすことができなくなった為リハビリ(家庭復帰)を目的とした老人保健施設があります。家庭で、生活、家族の介護が難し

くなった場合、長期で利用できる特別養護老人ホームがあります。又、家庭の都合などで二、三日、一週間、一ヶ月と状況に応じて短期利用するショートステイもあります。その他にも、自宅にて買い物や、掃除だけを依頼する、家庭で介護をしている家族の代わりに入浴介助をする、訪問介護サービスがあります。

高齢者の、おかれる環境において自分自身、又は家族が選択できません。その他にも色々な施設やサービスがありますが、まずは介護度申請をし認定を受けて下さい。もし緊急などで、こういったサービスを受けるたいが、まだ申請していない場合、もしくは申請中の場合は、サービスを受けたい施設などに、その事を伝えれば利用可能です。

実際に、サービスを受け始めたらケアマネージャーや、介護職員と、よく介護内容、自分や家族の要望を話し、伝えて下さい。自分達が考え思っている部分と実際に、出来る範

囲は、少々違っていることがあるからです。

利用する方は普段とは違う環境なので、ちょっとした事で転んでしまったり、疲れてしまったりしてまいります。十分に注意して下さい。転んで骨折してしまえば、寝たきり状態になってしまう可能性があります。

まずは、気軽に介護保険施設に行つて、どのような事をしているのか、どのようなサービスがあるのか、知る事から始めてみて下さい。

今回、年末に金剛寺の掃除で住職と介護の話になり、住職の周りには、介護施設を、あまり知らない方がいる事を聞き、私は介護の現場で働いていたので、未熟ながら自分の知りえる事を今回、書いてみました。少なからず、そのような方々に知っていただければと思います。



表彰

『総務大臣表彰』

平成二十年十月十五日

『社会功労賞』

平成二十一年三月二十七日

写真 豊山派小野塚管長げいか下より賜与
豊山派宗務所にて



法話 第六話 「読書三到」

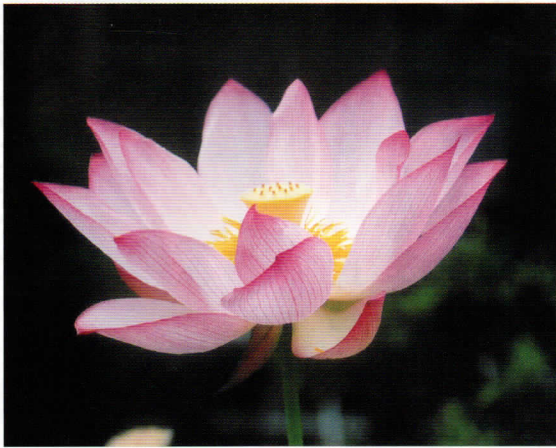
この言葉は、中国宋代の朱熹
(千二百年没)の言葉。

書物を良く理解するのは、眼
読、口読、心読が大切だと言う
言葉。

眼読 || 目でよく見ること

口読 || 口で朗読すること

心読 || 心によく会得して
読むこと



住職 撮影

主な布教活動

(講演・講話・団参等)

◆平成二十年七月

対象 宮城中全校生徒

会場 宮城中学校体育館

演題 蓮の花の生き方 講話

◆平成二十年六月

対象 天台宗保護司会・民生・児童

委員会合同研修会

会場 埼玉県川越プリンスホテル

演題 非行から再生までの道のり

講演

◆平成二十年十一月

対象 金剛寺檀信徒

会場 総本山長谷寺・岡寺・清水寺

・大原三千院等

金剛寺檀信徒各霊の法要及び

当山隆昌祈願

目的 鐘楼堂屋根修復完成及び住職

就任二十周年記念

編集後記

「道だより」も早いもので、第六号となりました。

昨年は、鐘楼堂屋根修復完成及び住職就任二十周年記念として「総本山長谷寺参拝と紅葉の古都を訪ねて」を企画致しましたところ、檀信徒各位の協力のもと、安中市、桐生市からも参加をいただき、実施できました事に心から感謝申し上げます。参加者の感想文を掲載させてい

ただきましたので、拝読いただければ幸いです。

「金剛寺ホームページ」も三万三千八百人以上のアクセスがありました。又、「メール相談室」も全国から多くの方々より「相談」が寄せられました。

今号に岩崎和衛、石橋久美子、塚越友樹各氏に投稿をいただき、この場を借りて御礼申し上げます。

これからも、「開かれた金剛寺」を目指して精進致しますので、御理解、御協力をお願い致します。

住職 記

